

令和7年度第1回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会会議録

日 時 令和7年8月19日(火) 午前10時
場 所 岡崎市役所 東庁舎6階 601会議室
出席委員 打田委千弘会長・鈴木雅良委員・伊藤理子委員・箕浦桂子委員・堀内健一委員・金谷美和委員・高須久夫委員・西本梓委員
欠席委員 中村奈津子委員・山本則夫委員
事務局 社会文化部：加藤部長・手嶋専門監
多様性社会推進課：本間課長・室田副課長・竹谷係長・兵藤係長・播本主事・内垣主事
家庭児童課：鈴木次長・柘植係長
商工労政課：酒井係長
傍聴者 なし

次 第

- 1 開会のことば
- 2 部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 第6次岡崎市男女共同参画基本計画の素案について
 - (2) 令和6年度実績報告について
 - (3) その他
- 5 閉会のことば

議 事

- 議題(1) 第6次岡崎市男女共同参画基本計画の素案について
資料1：第6次男女共同参画基本計画（案）
資料1－1：具体的な事業内容

事務局 指標の設定につきまして、事前に中村委員より『モニタリング指標の「自治会長の女性割合」について、現状値が1.4%となっておりますが、令和6年度の全国平均は8.0%であり、比較すると、かなり低い数値となっております。数値が低い背景を具体的に把握されていたらご教示いただきたいです。』と質問をいただいておりますので、回答させていただきます。

事務局 岡崎市では地域活動において男性がリーダー的役割を担う傾向があり、市民意識調査においても「地域活動の役割分担はどのようになっていますか」という質問に対し、「地域の役員、リーダー的役割」を「主に男性が

担当」と回答した人の割合は 48.1%となっております。自治会長の選出につきましては、それぞれの町内会の中から 1 名総代を選出することとなっており、選出方法などに決まりはありませんが、固定的な性別役割分担が根強く残っており、数値が低くなっていると考えております。なお、自治会長の女性割合につきましては、令和 6 年度時点で豊田市が 1.3%、安城市が 2.5%など、西三河全体で女性割合が低くなっております。

鈴木委員 私の町内会では、総代の候補に女性があがってきません。やはり総代となると重いので、まずは社会教育委員会や女性の会など町内会にある様々な団体に女性が参画していくことが大切だと考えます。実際に私の町内会でも多くの女性が地域活動に参画しています。自治会長の割合だけを見ると、地域活動に女性が参画していないように見えるため、もう少し広げた指標を取り入れてもいいと思いました。

伊藤委員 総代のほとんどが男性であることは私も実感しており、女性の会などを作ることで女性も自治会に参加しているのではないかと考えます。女性の役員も徐々に増えてきていると感じますので、自治会長の数だけでなく、役員の数などもあるといいと思いました。

高須委員 モニタリング指標として「自治会長の女性割合」を設定いただいたことは、良いことだと思います。自分が総代をしていたときは評議員も男性ばかりでしたので、女性の割合が増えるといいと思います。

堀内委員 『市民意識調査においてDV被害について「相談した」と回答した人の割合』について、こちらはDVの被害にあった方で相談した人の割合でしょうか。

事務局 ご認識のとおりです。DVの相談件数につきましては、減少傾向にあり、愛知県においても同様の傾向が見られますが、DVそのものが減少しているということではなく、市民意識調査においても、相談していない方が約 75%と、被害者の方が十分に相談できていない課題がありますので、適切な支援につなげられるようにするためにも、目標値を 50%と設定いたしました。

堀内委員 DVが起こる背景にはどのようなものがあるのでしょうか。

事務局 経済的な問題や子どもに関わる問題、社会的な問題など様々な要因がありますので、一概に原因をいうことは難しいですが、DVを減らしていくためには、DVをしてはならないという意識づけを社会全体に行っていくことが重要だと考えます。

会長 DV相談に関して、どのような相談があるのかは公表されているのでしょうか。

事務局 被害拡大につながるおそれがありますので、具体的な相談内容については公表しておりません。

会長 DVの相談した割合については、分子である相談した方の数が増えても、

分母である被害者の方が減っても高くなるため、なにを重視するのか難しい問題だと思います。また、この指標に限らず、今回の成果指標では市民意識調査の数値など市でコントロールできない部分が多くなっているため、前計画よりも達成が難しくなっていると感じています。

会 長 DVの潜在的な数は減っているのでしょうか。

事 務 局 DVに対する認識も多様化、複雑化しておりますので、数として把握することは難しいですが、DVが犯罪だという認識が広がりつつあり、今までは家庭の問題として捉えられていたものが、社会全体の問題として捉えられるようになってきたと感じております。

箕 浦 委 員 「放課後児童クラブの受け入れ量」について、目標値の数値の根拠を教えてください。

事 務 局 利用実績や現在の供給体制、今後の動向などを踏まえて量の見込みを算出し、目標値を設定しております。人数などは地域によってばらつきがありますので、地域の状況も考慮して、進めていく必要があると感じています。受け入れ量拡大の取組として、市営住宅の建て替えにあわせ、その一角に施設をつくるなどを行っています。また、小学3年生までの子を優先して受け入れを行っていますが、3年生で入った子が4年生になっても入りたいということがあると、新たに入れないう子が出てきてしまうなどの問題もあります。

箕 浦 委 員 「待機児童数」はどのように出しているのでしょうか。

事 務 局 どの保育園等にも入れなかった子の数を待機児童数としております。

箕 浦 委 員 待機児童数には含まれていなくても、近くの保育園に入れず、遠くの保育園に通わなければならないなどの問題もあると思います。私自身、働きたい女性が増えてきていると感じており、そうした方が職場に復帰する際に苦労なく保育園等に入れるようになればいいと思います。また、子どもが育てやすいということは岡崎市への移住の増加にもつながると思いますので、そのあたりも考えていただければと思います。

会 長 待機児童数はその時の需要と供給に左右され、受け入れ量を増やせば増やすほど潜在的な需要が掘り起こされますので、待機児童数が0だからと移住したのに保育園等に入れなかったということもありえる、難しい問題だと思います。

西 本 委 員 『市民意識調査においてLGBTQ当事者(身近に当事者がいる人も含む)で相談窓口を「知っている」と回答した人の割合』につきまして、岐阜県や静岡県など岡崎市と同時期に開始した、他の自治体の認知度や周知方法などを参考にするのも良いと思います。

事 務 局 基本施策につきまして、事前に中村委員より『地域連携という点では「大学」も大きな資源であると思います。今後、市内の大学との連携・協働を模索されてはいかがでしょうか。現在岡崎市には「岡崎大学懇話会」があ

り、活発な活動をされているようです。ただ、HPを拝見する限り、男女共同参画の視点からの取り組みについては、ほとんど見当たりません。HP上で報告されている「市長と4大学学長対談」において「現在岡崎市では、若者（15歳～24歳）、や女性の転出が多いことが問題提起され、それを防止するための様々な提案が各学長よりなされました」といった報告も見られます。男女共同参画の視点から、連携・協働によって様々な取組が可能になるのではないかと考えました。』と御意見をいただいております。

事務局 男女共同参画の更なる推進のため、大学や学生などとの連携も検討し、様々な取組を行っていきたいと考えております。

会長 いきなり大学との連携は難しいと思いますので、まずは教員へ個別にアプローチするなど、小さいところからは始めるのがいいと思います。

金谷委員 「基本目標3(2)③女性が被害者となる犯罪防止対策の推進」について、相談件数の現状値を見ても女性の被害が多いことは感じておりますが、被害者は女性だけではないと思います。女性に絞っている理由などがありますでしょうか。

事務局 令和6年4月に「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行され、本計画においてもこの法律に基づいた記載としております。相談につきましては、女性相談を先行して実施しており、令和2年10月に男性相談を新たに開設しました。需要などの差もあり女性相談との規模の差はありますが、男性に向けた支援についても更なる充実を図っていく必要があると感じております。また、犯罪被害につきまして、本計画では女性を焦点とした記載となっておりますが、令和6年度に岡崎市犯罪被害者等支援条例を策定し、男性に向けた支援なども行っております。

伊藤委員 基本目標3(3)①にある「学校における性教育の実施」につきまして、被害者にならないための教育だけでなく、加害者にならないための教育やSNSによる犯罪なども含めたものとしていただけると、被害者を減らすことができるのではないかと思います。

西本委員 第4章4(2)の「03 おもいやりのある社会へ」の「おもいやり」という部分について、人権の尊重やDV被害の根絶に対しておもいやりが必要なのかと違和感を感じます。「あんしんしてらせる社会へ」などの言葉とする方がいいと思いますがいかがでしょうか。

事務局 言葉につきましては、事務局でも決めかねている部分となりますので、委員の皆様にご決めていただければと思います。

会長 それでは、皆様いかがでしょうか。

全委員 「あんしんしてらせる社会へ」で異議なし

会長 それでは、「あんしんしてらせる社会へ」としたいと思います。

○ 議題(2) 令和6年度実績報告について

資料２：令和６年度実績報告（第５次岡崎市男女共同参画基本計画）

会　　長　　実績報告の結果なども踏まえて、計画についても考えていただけるといい
　　と思います。

○ 議題(3) その他

資料３：岡崎市多様な働き方推進事業者認証制度進捗状況

会　　長　　大変素晴らしい制度だと思います。商工労政に関する部署などとの連携も
　　進めていただけたらと思います。